事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　7年　3月　1日　　事業所名　ニコア

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用者数に対するスペースを十分に確保しております。また、一人一人に細かい配慮が出来るようパーティション等を使用し、工夫した空間づくりを行っております。
	②	職員の配置数は適切である	○			保育士、児童指導員を常時2名以上配置しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			事業所内はバリアフリー化されております。 外階段については、手すりを設置し安全に上り下りできるようにてしおります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			職員ミーティングを行っており、業務改善について話し合っています。また、療育活動後にも振り返る時間を設けております。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年に1度保護者向けアンケートを実施し、業務改善につなげております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			年に1度保護者向けアンケートを実施後、ホームページにて公開しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	現在は、保護者向けアンケートと事業所向けアンケートの実施のみとなっておりますが、今後の検討課題といたします。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			希望する職員には外部の研修への参加、研修後の情報共有を行っております。また、社内でも定期的な研修を行っており、幅広い知識を身につけ支援に生かしていけるようにしております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			お子さまに対するニーズや課題を聞き取り、分析し、個別支援計画作成をしております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			検査結果等を持参しているお子さまについては、結果を支援の参考にさせていただいております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			お子さまの現状に合わせたプログラムを職員で話し合い立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			安心して過ごせるよう、ある程度の枠組みを設定している中でも、支援に合わせた新しい取り組みを随時取り入れ行っております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日、休日、長期休暇、それぞれの利用時間に応じたプロクラムを設定しております。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			お子さまの状況に合わせて、個別と集団活動の時間配分を調整して計画を作成しております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			支援開始前に来室されるお子さまの把握と個々に合わせた支援内容、役割分担を確認しております。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			業務終了後には、お子さまの様子や、活動プログラムについての振返り、情報共有を行い、改善点についても話し合う機会を設けております。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			記録をとることで支援の改善や振り返りが出来るようにしております。また、保護者にも当日の様子を口頭と連絡帳でお伝えしております。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に1度、これまでの支援の振り返りを行うとともに支援計画についての見直しを行っております。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			ガイドラインに沿った支援を行っております。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に参加したことがありません。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			送迎は行っておりません。 保護者の方からの要望、必要に応じて学校との情報共有を行っております。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、該当するお子さまがおりません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		保護者の方からの情報提供を基にしております。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在、該当するお子さまがいないため行っておりませんが、今後必要に応じて行っていきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			市が開催している研修に参加させていただいております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		近くの児童館と連絡を取り、必要に応じて交流できるようにしております。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			地域の社会福祉協議会へ参加しております。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や連絡帳、事業所内相談支援などで保護者の方とのコミュニケーションには力を入れております。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			お子さんへの対応方法や保護者の方の気持ちが楽になれる考え方などをお伝えしております。面談等の時間が取りにくい方にもお便り等でコラム掲載も行っております。
保	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時にも分りやすく説明させていただいております。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			随時行っております。 気軽にお話しいただける雰囲気作りに努めております。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者の方同士がが気軽に話せる場として、茶話会を実施しております。参加しやすいように日程調整や開催方法を検討していきます。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			申し入れがあった場合には迅速かつ適切に対応させていただきます。苦情の受付担当者等は重要事項説明書に記載し、契約時にごも説明させていただいております。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			連絡事項やイベント開催の情報をLINE、お便りにて周知しております。今後は定期的な情報発信を行っていきたいと考えております。
	㉟	個人情報に十分注意している	○			個人情報の記載があるものは鍵付きの書庫に保管しております。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			絵カードの使用や掲示物など視覚的にも分かりやすいよう工夫をしております。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			地域の商店会の活動に参加し、ハロウィン等のイベント開催時に地域の方にも事業所内を公開しております。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各種マニュアルを策定し、研修等を含め職員に周知しています。出入口付近にマニュアルを置いて保護者の方にもいつでも確認できるようにしております。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			職員とお子さまが参加する避難訓練を実施しております。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			職員が外部の研修に参加できる機会を設けております。また、虐待防止・身体拘束に関する研修を事業所内でも行っております。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定しております。現在、対象となるお子さまがおりませんが、適切に対応できるようにしていきます。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者の方からの情報提供に基づき対応しております。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			危険だと感じた出来事があった際には報告書を作成し、対応策等を話し合い、職員間で共有しております。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。